

第14回欧州視察

世界一のワイン祭りに参加

葛巻高原食品加工株式会社とくずまき高原国際交流推進協議会が企画した第14回欧州視察「ミルクとワインの旅」が、9月5日から14日までの10日間の日程で行われ、11人の参加者はヨーロッパの旅を満喫しました。



バードデュルクハイム市のルツツ市長を敬訪問した一行（写真上）ワイン祭りに浴衣で一緒に参加した葛巻生と地元高校生ら（写真下）



ました。

一行は、成田空港からシンガポール経由でドイツのフランクフルトへ。バードデュルクハイム市の庁舎を訪問、ルツツ市長を表敬訪問しました。その後、7日から12日までの6日間、高校生はホームステイをしながら、地元高校の授業に参加。その間、世界一のワイン祭りヴルストマル

クトの「姉妹都市来賓パレード」へ参加し、浴衣で「盆踊り」を披露しました。一般の参加者は、バードデュルクハイム市やストラスブルグ市を観光、ワインやチーズを心ゆくまで楽しみました。

一般の参加者 ▼団長・和野喜一さん（田の沢）▼女鹿園芳さん（新町）▼漆真下満さん（橋場）▼上打田内聡さん（打田内）▼漆真下綾子さん（橋場）▼高校生の引率・赤真下智子先生

研修に参加して

高校生の感想



2年 緑川愛望 さん

泣きたくなかった日も この研修で、たくさんのごとを「見て」「話して」きました。言葉の壁は大きく、泣きたくなる日もありました。でも、ドイツの皆さんが温かく接してくださり、とてもうれしかったです。世界一のワイン祭りに参加できたことも、一生の思い出です。

不安だったけど ドイツに行く前は、いろいろ不安でいっぱいでした。一番は「言葉が通じるか」でした。実際に行ってみるとホームステイ先の家族や町の方々、市長さん、皆さん優しく話しかけてくれたのでうれしかったです。終えてみるととても楽しい研修でした。



2年 千葉 翠 さん

すぐに仲良くなれた 一番良かったと思うことは、ドイツの方々がたくさん交流できたことです。言葉の壁が不安でしたが、皆さんとても優しくフレンドリーで、すぐに仲良くなることができました。本当に、交流のすべてが大切な思い出になりました。



2年 堺澤結佳 さん

涙がとまらなかった 英語が得意ではないので、とても不安でした。ホームステイ先では、ジェスチャーや紙に書いたりして、なんとか伝えることができました。最後の別れのときは、自然に涙がこぼれて止まりませんでした。ドイツの方々との交流は、私を成長させてくれました。



2年 市村奈葉 さん

感謝の気持ちでいっぱい 私にとってホームステイが一番に残り、一生の宝物になりました。今回、私にドイツ研修の機会を与えてくださった方々に、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。私を二回りも二回りも成長させてくれた、実り多い研修でした。



1年 三浦悠佳 さん

くずまき高原牧場内に

体験交流センターが完成

このほど、くずまき高原牧場内に「体験交流センター」が完成しました。

この施設は、当町の「人・食・自然」などの多面的な資源を体験することを目的

に建設されました。同センターは、町産のカラマツ集成材を使った木造平屋建てで総面積が522平方メートル。また、隣接する補完施設（371平方メートル）2棟もセンター同様町産のカラマツ集成材が使用され、より充実した交流体験を提供します。これらは国の補助を活用し事業費約9800万円



体験交流施設（左）と補完施設（2棟）

で建設され、今後は牧場体験など幅広く利用していきます。

9月25日は、岩手県内各地から第一生命・労働組合の家族約300人が同牧場を訪れ、焼き

肉で昼食、交流しました。同組合の書記長の水島博さんは、「何よりもお肉が大満足です。バターやアイスクリーム作りを楽しんで帰りたい」と笑顔で語りました。

同センターを管理運営する葛巻町畜産開発公社の高宮晴彦専務理事は、「皆さんに大いに利用していただき、体験交流を拡大していきたい」と話しました。

～ごみの減量化に取り組みましょう～

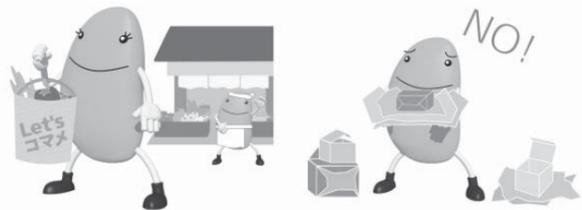
10月は、環境にやさしい買い物キャンペーン月間です！



エコハッチャンマイバック

一人が1年間で使用するレジ袋はなんと230枚とされています。レジ袋をもらわないことで、年間CO₂削減効果は一人当たり58kg、杉の木にして4.2本分のエコにつながります。

- ・買い物にはマイバックやマイバスケットなど買い物袋を持参して、レジ袋はもらわないようにしましょう。
- ・商品の過剰包装はやめ、簡易包装にしましょう。
- ・割りばしやストローなど使い捨て商品を受け取らないようにしましょう。



ごみの分別に挑戦 (吉ヶ沢小)

